

2019年4月4日

名古屋鉄道株式会社で「ESG 経営支援ローン」を成約

株式会社三菱 UFJ 銀行（頭取 ^{みけ} 三毛 ^{かねつぐ} 兼承）は、お客さまの ESG（環境・社会・ガバナンス）の取り組みを支援・サポートする ESG 評価型融資商品である「ESG 経営支援ローン（以下、本商品）」の取り扱いを行っております。

本商品の ESG 評価は、株式会社三菱 UFJ フィナンシャルグループ（以下、MUFG）の一員である三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社（以下、MURC）をサービス提供者、グリーンファイナンスの認証実績のある株式会社日本格付研究所（以下、JCR）をサポート企業としております。MURC が ESG に関する独自のチェック項目に基づき、お客様の ESG に対する取り組みを評価、スコアリングを付与するとともに、JCR との連携で客観的な確認を実施し、課題等もお客様にフィードバックします。本商品は、評価結果が一定以上の企業を対象とした評価型の融資商品となります。

名古屋鉄道株式会社（代表取締役社長 安藤隆司）は、中部地区で初めて本商品を活用し、環境への貢献が優れた資金使途に対するシンジケートローン契約を3月26日に締結いたしました。

また、MUFG ESG 評価において、「特に進んでいる」との評価である A ランクを取得しました。

- ✓ 「名鉄グループ経営ビジョン」において ESG すべての領域に関する名鉄グループの方向性を明示
- ✓ 環境（E）では、社会インフラでもある鉄道事業の省エネを進め、主な GHG 排出源である車両において省エネ型を積極的に導入
- ✓ 社会（S）では、輸送の安全を確保することを使命として、「安全に関する基本方針」を策定し、鉄道事業に従事する全役職員が一丸となって安全管理体制の強化に向けて取組
- ✓ ガバナンス（G）では、「ルールの遵守（法令遵守の徹底）」「安全の確保」「公正な事業活動」「積極的なコミュニケーション活動」「人と社会の尊重」を方針として掲げ、方針に沿った施策を推進

併せて、今回のシンジケートローンは、資金使途である CASBEE 名古屋 A の届出のビル（※）について JCR より、グリーンローン原則が定める資金使途・プロジェクトの評価・資金調達の管理・レポートの第三者認証も取得し、最上位の「Green1」の評価を受けています。

（※）CASBEE：省エネルギーや環境負荷の少ない資機材の使用といった環境配慮はもとより、室内の快適性や景観への配慮なども含めた建物の品質を総合的に評価するシステム

対象ビル：2020年夏頃完成予定の名駅一丁目に建設する地上14階、延床約1.9万平米のオフィスビル。

MUFG は、引き続き、お客さまの ESG の取り組みを支援し、事業を通じた環境・社会課題の解決に貢献してまいります。

以上